第５回　わがまち調布の輝き女性（びと）

調布市深大寺南町にある、株式会社緑興で働く女性お二人と事業部長の宍戸様を取材しました！！

＜プロフィール＞

高橋美幸さん（40代）

入社１年３か月目（2021年1月時点）
中学生と高校生の息子さんを持つ。
従業員の作業を管理する現場管理、また安全な作業が行えるよう危機管理指導を行う。

橋本佳奈さん（20代）

入社１年３か月目（2021年1月時点）
就職のため、兵庫県から上京。
男性に交じり、剪定から除草、落ち葉清掃、刈込、伐採などを行う。

―　現在のお仕事を始められた“きっかけ”は何でしょうか？

高橋：自宅の庭にある樹木の手入れや剪定をしているととても気持ちが良くて、より樹木の剪定などについて詳しくなりたいと思ったことがきっかけです。

橋本：兵庫県の田舎で育ちまして、実家に庭があり興味を持ったことがきっかけです。

―　約１年間働かれて、大変だった・苦労したと感じた（感じている）ことは何ですか？

高橋：危機管理指導は相手に伝えることが重要となるため、自分の言葉で相手に思いを伝えることが難しく苦戦しています。経験年数が浅い人からベテランの人まで様々な方がいるので、その人に合わせた伝え方を模索しています。

橋本：自分ではこれ以上の仕事はできないと思っていても、必ず誰かはやっていると思うので、自分で限界を決めずに次の段階に向けて進んでいくことが難しいと感じています。

―　将来を見据えて何か目標はありますか？

橋本：目標と言いますか、尊敬している先輩がいます。現場で一緒に働く機会のある方で、技術面だけでなく人間性も尊敬している目標のような存在です。

高橋：現在は指導を受けている段階なので、何を聞かれても上司に頼らず答えることができるようになりたいですね。また、相手に分かりやすく伝えられるようになることも目標です。

―　いま現在、自分らしく働けていると感じることは何ですか？

高橋：協力会社や相手先の方と分け隔てなくコミュニケーションが取れていること、また思ったことは躊躇せずはっきりと伝えることを心がけていることです。
仕事を円滑に進めるうえで、皆さんのお話を聞き受け止めることが非常に大切だと感じています。
造園建設業には外国の方も多いので、少しずつですが英語の勉強を頑張っています。

最後に．．．

高橋さん・橋本さんから、
男性が多い職種・職場で働きたいと考えている方へメッセージ！！

高橋：元気で明るい方がいると現場も明るくなります。ぜひ挑戦してみてください！

橋本：自分の意思で仕事を決めることが大事です。男性が多い職場でも、女性だからと気を引かず一歩踏み出してみてください！

電線よりも高い木の上で作業中！！

（左）伐採作業中の橋本さん
（右）危機管理指導中の高橋さん